

施政方針

人口減少時代への挑戦



北秋田市議会3月定例会において、津谷市長が平成30年度における主な施策と事業について説明しました。

この中で津谷市長は「総合計画や総合戦略を着実に進めていくことで、狙いとする効果や期待が徐々に高まってきている。本年度も最大の課題は人口減少対策にあるとの認識のもと、市政運営における指標として『人口減少時代への挑戦』を掲げ、仕事や生活、子育て等、安心安全で快適な北秋田暮らしの魅力を積極的にPRし、移住定住施策をはじめ人口減少対策の強化・充実をさらに図っていく。また、ほかの地域にはない陸路、空路、鉄道の3つの交通体系が整った本市の強みを最大限に生かし、地方創生の実現に向けスピート感をもってあたる1年とする」などと方向性を示しました。

各課の主な施策と事業を紹介します。

各課ごとの 主な施策と事業等

総務課

- ▽人事評価制度の公正性、客観性を高め、職員の育成と公務効率及び住民サービスの向上を図る。
- ▽デジタル同報無線の導入及び防災ラジオの配布に万全を期す。
- ▽空き家等の対策は、市空家等対策計画に基づき、所有者等による適切な管理の促進と特定空家等の適切な措置の実施に取り組む。

総合政策課

- ▽総合戦略及び総合計画は、重点プロジェクトの成果指標達成に向けた精査・検証を図りながら、各施策・事業の推進を図る。
- ▽移住定住ネットワークセンターを活用し、移住体験事業を年間型で提供するほか、移住相談、情報発信、各種サポートを総合的に推進する。
- ▽「仕事と移住希望者とのマッチング事業」「奨学金返還支援制度」「移住者融資資金利子補給事業」や創設する「移住者住まい応援助成金」などを活用し、きめ細かい支援で移住定住者の増加につなげる。
- ▽「結婚生活応援事業」を創設し、若者の結婚を奨励しながら婚姻数や子育て世帯の増加につなげる。

内陸線再生支援室

- ▽経常損失額2億円以内の目標達成に向け、支援団体や沿線自治会などとの連携を強化し、利用促進に向けた運動を展開する。
- ▽保育園のふるさと教育補助及び高校生定期券補助、貸切車両の補助を継続し、利用者確保に努める。
- ▽沿線観光資源のブラッシュアップやおもてなしの向上で、魅力を高め利用客の増加に努める。

財政課

- ▽財政運営は、自主財源の確保に努め、事務事業の精査や経費節減などにより健全財政の維持を図る。
- ▽旧中央公民館を「第二庁舎」、分庁舎を「宮前町庁舎」と名称を変更する。本庁舎は市民目線に立つて窓口カウンターの改修を進める。
- ▽コンビニ収納を開始し、市税等の納付にかかる利便性の向上を図る。

税務課

- ▽市民税と軽自動車税は、増収を見込みつつ、適正で公平な課税と徴収に努め、自主財源の確保を図る。

生活課

- ▽3R活動を促進し、環境負荷の軽減と地球環境保全を目指した、住みよいまちづくりに取り組む。
- ▽し尿処理施設は、平成32年4月供用開始の新施設建設に万全を期す。
- ▽消費者トラブルの未然防止と解決に向け積極的に取り組む。

市民課

- ▽福祉医療は、助成対象を高校生世代まで拡大して、子育て支援の充実を図る。
- ▽国民健康保険は、都道府県化に移行するため、国保事業費納付金に見合う適正な予算執行に努める。
- ▽障がい福祉は、利用者が不安を感じないよう、適切な情報提供や個別支援を行う。
- ▽保育の質充実のため、施設整備を進める。また、公立保育園の民営化に向けた取り組みを検討する。

福祉課

- ▽障がい福祉は、利用者が不安を感じないよう、適切な情報提供や個別支援を行う。
- ▽保育の質充実のため、施設整備を進める。また、公立保育園の民営化に向けた取り組みを検討する。

高齢福祉課

- ▽高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けるため、関係機関が連携し、

医療健康課

- 生活支援体制の整備に努める。
- ▽高齢者が生きがいや楽しみのある生活を送り、介護が必要になっても尊厳を持ち続けられるまちづくりを推進する。
- ▽北秋田市自殺予防計画を策定し、自殺対策の強化と推進を図る。
- ▽新生児聴覚検査の助成を行い、負担軽減に努める。
- ▽市民病院の体制強化と地域医療を支える開業医や診療所と連携し、医療体制の充実を図る。
- ▽市民病院は、地域がん診療病院の指定を受け、がん診療体制を強化し、質の高い医療の提供を目指す。

農林課

- ▽主食用米生産への依存から脱却し、生産性・収益性の高い作物の生産拡大による農業経営の確立に向け、各種補助事業等を複合的に展開し、農業所得の安定を目指す。
- ▽林業を軸とした地域産業の成長に向け、秋田スギの産地としての価値向上に努める。
- ▽北秋田市鳥獣被害防止計画に基づき、対象鳥獣の範囲を広げ、鳥獣被害対策実施隊との連携を強化し、農作物の被害防止と市民生活の安心安全に努める。

北秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略

基本目標 1 産業振興による仕事づくり

◎主な取り組み

- ◇主食用米の依存から脱却し、生産性・収益性の高い作物の生産拡大による農業所得の安定
- ◇「産地パワーアップ事業」や「園芸メガ団地整備事業」に独自支援し、野菜等の生産拡大
- ◇「秋田のしいたけ販売三冠王獲得事業」を活用した、菌床しいたけの生産拡大
- ◇「青果物振興対策事業」や「戦略作物地力増進事業」で園芸作物生産者への支援を継続



↑多くの中学生が市内企業から説明を受けた企業博覧会

- ◇広報による市内企業の紹介や企業博覧会の共催で、地元企業への理解を促し、市内就職の定着化

- ◇中心市街地活性化のため、空き店舗を活用した新規出店者への開業支援による空き店舗の解消

- ◇日本三大樹氷ブランド化誘客推進事業として、本市で「樹氷サミット」を開催し全国に向けて情報発信



↑日本三大樹氷のブランド化で、森吉山の魅力を発信

- ◇DMO「秋田犬ツーリズム」「3D連携」等で地域を越えた連携を強化し観光誘客
- ◇自然体験型の観光メニュー開発による滞在時間の延長を図り、宿泊施設や飲食店の利用を促進し、官民一体の「おもてなし」の充実